Good Neighbors Japan

Good Change for the World

グッドネーバーズ・ジャパン 年次報告書

2022

2022.1 - 2022.12

ごあいさつ

日頃より私どもグッドネーバーズ・ジャパンにご支援・ご協力くださっている皆さまにあらためて感謝を申し上げます。今年も、昨年の活動をまとめた「年次報告書」を皆さまにお届けいたします。

国際NGOグッドネーバーズ・インターナショナルは2022年、全世界で620万人以上の子どもたちや地域住民、難民、国内避難民を対象に教育や医療、収入向上支援など様々なプログラムを実施しました。
グッドネーバーズ・ジャパンもその日本法人として、皆さまのご支援によりウクライナ危機被災者支援を含む様々な人道支援事業に10名以上の職員を派遣したほか、国内でも食品配付事業「グッドごはん」の配付拠点を17カ所から28カ所に増やし、より多くの人に支援を届けるべく尽力しました。
昨年は、地球規模の課題に15年かけて取り組むSDGs（持続可能な開発目標）の折り返しの年でもありました。様々な国が課題解決に力を注ぐ一方、世界で発生する紛争・気候変動・感染症・物価高騰等の脅威がその前途を妨げています。
ユニセフが2023年5月に発表したレポート※では、新型コロナウイルスの大流行によって、2020年以降回避できた児童婚の数が減少したと推計され、現在のペースでは、児童婚が撲滅されるまでさらに300年かかると見積もられています。（※United Nations Children’ s Fund, Is an End to Child Marriage within Reach? Latest trends and future prospects. 2023 update, UNICEF, New York, 2023.）
私たちが実施した「グッドごはん」利用者の調査では、新型コロナウイルス感染拡大以前の2019年と比較し2022年の就労収入が「減った」または「無くなった」と回答した人は、全体の6割程に及びました。

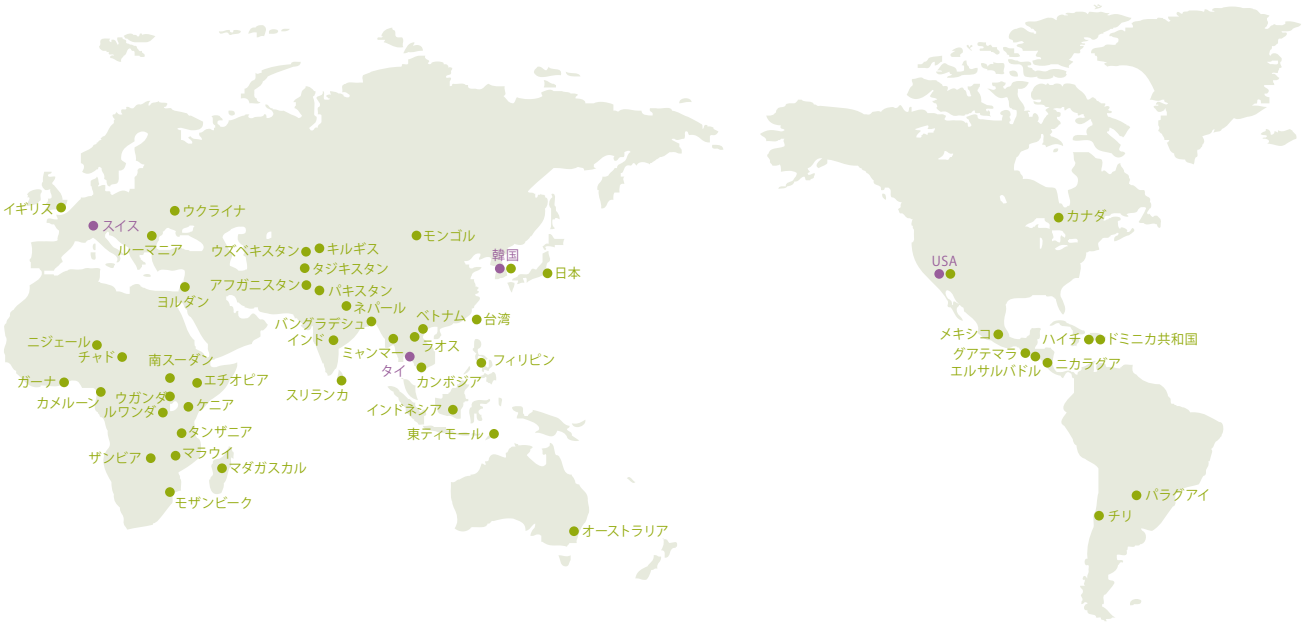
あらゆる脅威により、脆弱な立場に置かれる人々は後を絶ちません。しかし、対処を諦めてしまえば子どもたちの未来にさらなる困難を継承することになります 。私たちは子どもたちに希望のある未来をつなぐため、活動を応援してくださる皆さまとともに決して諦めず、努力し行動してまいります。

福井 玲

グッドネーバーズ・ジャパン会長
東京大学名誉教授

活動地域

● 事業実施国　● グローバルオフィス



活動分野

支援する
子どもと家族

- 教育・子どもの保護
- 水・衛生
- 医療・保健
- 収入向上
- 地域パートナーシップ＆ネットワーク構築
- アドボカシー
- 緊急支援
- ボランティア

2022年の成果

海外

世界中で21万人以上の子どもたちを支援しました。

地域開発プロジェクト
6,203,381人

教育支援
1,526,134人

保健医療支援
1,924,376人

水・衛生支援
482,369人

収入向上支援
82,726世帯

アドボカシー
550,876人

緊急支援
982,126人

国内

支援世帯数
延べ15,502世帯

支援した子ども
延べ26,891人

海外事業

教育

グッドネーバーズは、貧困・児童労働・差別など、困難な環境に置かれた子どもたちに教育の機会を提供し、質の高い教育を通じて貧困のスパイラルから脱し、未来への希望を持つことができるように支援します。

オンライン授業に参加する子どもたち（ルワンダ）

チャド

奨学金や課外活動を通して質の高い教育を

奨学金のおかげで良い環境で勉強できるようになるから嬉しい。

ジブリン　2022年奨学生

文章を読むことが苦手でしたが、サマークラスで勉強してスラスラ読めるようになりました。他の勉強が苦手な子たちのためにも、来年も開催してほしいです。

ハッサナ
サマークラスに参加した
ヨナスクールの小学4年生

北アフリカの内陸国チャドは、若者（15-24歳）の識字率が男性41%、女性22%と低く、未だ多くの若者は生活に必要な簡単な読み書きができません（ユニセフ『世界子供白書2019』）。
グッドネーバーズはチャドの教育環境を良くするため、学校運営などの支援を行っていますが、2022年も日本の皆さまからのご支援により「ヨナスクール※奨学金プロジェクト」を実施することができました。これは経済的な困難を抱えた子どもの支援、及びヨナスクールの中等教育課程に通う約160名の生徒たちの出席率を向上させることも目的としています。10月には奨学金の授与式が行われ、40名の奨学生（男子25名、女子15名）と彼らの家族、地域の方々など計90名が参加しました。
グッドネーバーズは奨学金の他、クラブ活動や放課後授業の費用支給や、復習や補習を目的としたサマークラスの開催等を通して、子どもたちがより良い環境で学習を続けられるようサポートしています。

※ヨナスクール：俳優故パク・ヨンハさんの募金により建設された学校

2022年ヨナスクールのあるファシャアテレ地域の教育支援

奨学金支給	サマークラス参加者	クラブ活動や放課後授業の費用支給
40人	228人	163人

授与式で中等学校長の話を真剣に聞く奨学生たち

ザンビア

諦めずに最後まで学校に通える環境と権利を

中等学校がたった２つしかないザンビア東部の地域。ここに住む女の子は、長距離通学で性犯罪のリスクにさらされ、また半分近い生徒たちは妊娠や早婚などで学校を中退せざるを得ない実態がありました。グッドネーバーズは生徒たちに安全な教育環境を提供するため、学校の建設支援や、ジェンダーにもとづいた暴力などの危険から自らを守るための教育を実施しました。生徒たちは学習を続けられる力を育み、さらには「子どもの権利」を守るための活動を主体的に行っています。

学校に行くには毎日1時間30分歩かなければなりませんでした。さらに、人里離れた通学路で殺人犯に遭遇し、危険な目に遭ったショックでしばらく学校に行けなくなったこともありました。でも、今はグッドネーバーズが提供してくれた寮で生活することで勉強に集中できるようになり、一生懸命勉強して看護師になりたいという夢も生まれました。

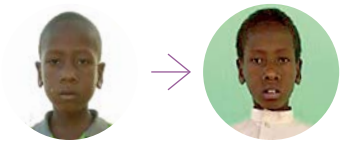
ルース・ムレヤ
ザンビア・ウンコメシャ中等学校の生徒

権利教育に参加した生徒の教育権認知度

支援を受け笑顔の女子生徒たち

グッドネーバーズ・ジャパンの成長ノート①

アドゥムくん
12歳　チャド



2018　2022

「サポーターさん、ありがとう」

アドゥムくんは今、ヨナスクールの3年生です。今年父親が他界し、とても悲しい経験をしました。現在は母親、兄弟6人、姉妹8人と一緒に暮らしています。活発な性格で、もし動物に変身できるとしたら、空の王様・ワシになりたいそうです。
グッドネーバーズは、母子家庭で育つこととなったアドゥムくんが学校で勉強を続けるために、支援を続け、家族を見守っています。

※チャドの教育制度　初等教育（6年制）、中等教育（7年制）

グッドネーバーズ・ジャパンの成長ノート②

カラパナさん
17歳　インド

2015　2022

「ダンスが上手に踊れた時、私は幸せな気分になります」

カラパナさんは、インドのチクジャラ地域に住む17歳。社交的な性格です。両親は、職を求めてカルナータカ州北部からこの地域に移住してきました。現在は採石場で働いていますが、収入は十分ではありません。しかし、皆さまのご支援のおかげでカラパナさんは今年カレッジに進学することができました。
グッドネーバーズはインドにおいて、持続可能な開発目標（SDGs）に基づき、教育、健康、職業訓練、水と衛生、収入向上の5つの分野で活動し、カラパナさんのような子どもたちを支えています。

※インド・チクジャラの教育制度　初等教育（4年）、中等教育（6年）、高等教育（2～5年）

医療・保健

グッドネーバーズは、子どもや地域住民に対し、専門的な保健医療施設や医療人材、物品を支援することで、大切な命を守ります。また、地域住民の中から保健員を育成し、健康的に暮らせる地域づくりを推進します。

妊婦や胎児の健康管理のため
超音波機器などを提供（エチオピア）

モザンビーク

被災者への保健医療サービスの提供

「必要な時に保健医療サービスを受けられる」と感じている住民の割合

※無作為抽出した405人の住民へ
実施した調査結果

モザンビーク共和国中央部に位置するソファラ州は、2019年3月のサイクロンにより甚大な被害を受けました。多くの被災者は政府が設置した再定住地へ移住しましたが、病院や学校といった公共サービスは十分に整備されていませんでした。グッドネーバーズ・ジャパンはソファラ州ニャマタンダ郡にある、2つの再定住地にて、ヘルスセンターの建設および無償のコミュニティ・ヘルス・ワーカーの育成事業を通し、住民の保健医療サービスへのアクセスの改善に取り組みました。建設したヘルスセンターは一般外来の診療室と処置室に加え、妊婦さんが出産に備えるために入院する病室と分娩室、さらにそこで働く医療スタッフが24時間体制で対応できるよう、医療スタッフの宿舎も備えています。

※この事業は外務省「日本NGO連携無償資金協力事業」です。

完成したヘルスセンターで診察を待つ人々

グッドネーバーズ・ジャパンの成長ノート③

ヘワンちゃん
13歳　エチオピア

2019　　2021

「私が1日の中で一番好きな時間は朝です。
なぜなら、学校へ行くからです」

ヘワンちゃんは、エチオピアの首都アディスアベバのリデタというスラム地域に住んでいる小学6年生です。母親は既に他界していて、父親は他の場所で働いているため、親戚と一緒に暮らしています。将来の夢は、医者になることです。グッドネーバーズは、エチオピアの計5つの地域で、医療・教育・安全な水へのアクセス向上など子どもたちのために様々な活動をしています。ヘワンちゃんが住んでいるリデタ地域と、南部・シダマ地域では、現在280人の子どもたちが日本の子どもスポンサー様から支援を受けています。

※エチオピアの教育制度　小学校8年制、中等教育課程校4年制

水・衛生

グッドネーバーズは、世界中のすべての子どもたちが安全な水にアクセスできるよう、水衛生環境の整備、住民からなる水衛生委員会の組織支援などを行い、人々を不衛生な水が引き起こす病気から守ります。

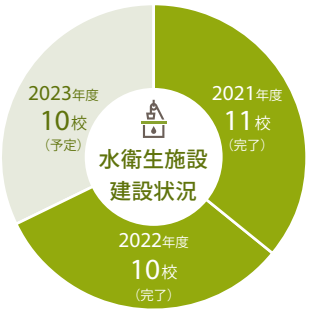
綺麗な水に喜ぶ少女（モザンビーク）

ネパール

学校と地域の水衛生環境を整備する活動

グッドネーバーズ・ジャパンは、ネパールの山岳地帯にあるカルナリ州ムグ郡において、小中学校における水衛生環境を整備する事業を行っています。
本事業の第2年次（2022年3月～2023年3月）は、10校で給水設備やトイレを建設し、計3,209名（男子1,621名・女子1,588名）の水衛生環境を整えることができました。さらに、事業対象31校の教師・生徒および周辺地域住民に対して、衛生意識向上や、月経を正しく理解し対処するためのセミナーを行いました。
ムグ郡を含むネパールの一部地域では、月経にまつわるタブーや偏見が根強くあります。グッドネーバーズでは学校の生徒や先生に対してのみならず、地域全体で月経についての理解を深めるために、様々な取り組みを行っています。2022年7月には「月経のきょうしつ」を開催し、参加者は月経のしくみを学び、月経に関する俗説や偏見についての意見交換を行いました。さらに、使い捨ての生理用ナプキンが手に入りづらい住民に対して布ナプキンの縫製トレーニングを実施し、作った布ナプキンを衛生的に使用できるように指導を行いました。

布ナプキン縫製トレーニングを受けた女子生徒たち



この事業では、3年間で31校の対象校の水・衛生環境の整備を計画しています。第2年次までに21校の建設が完了し、第3年次で残り10校の建設を進めています

※この事業は外務省「日本NGO連携無償資金協力事業」です。

グッドネーバーズ・ジャパンの成長ノート④

パット ソーンちゃん
7歳　カンボジア

2020　→　2022

「親愛なるサポーターさん、支援してくれてありがとう」

パット ソーンちゃんは、カンボジア北西部のオーチュローブに住んでいます。父親は隣国タイで建設労働者として働いているため、母親、兄弟2人と一緒に暮らしています。好きな動物は馬、好きな色は赤です。明るい性格で、絵を描くことが好きです。
オーチュローブ地域は首都プノンペンとタイを結ぶ国道沿いにあり、子どもたちの親の多くはタイ国境付近やタイへ出稼ぎに行っています。しかし日雇い労働や建設現場で得られる収入は少なく、生活は楽ではありません。
グッドネーバーズはカンボジアで、給食の提供や情操教育、歯科医療など様々な活動を通して子どもたちの成長を支えています。
※カンボジアの教育制度　就学前教育（3年制）、初等教育（6年制）、中等教育（3年制）

収入向上支援

グッドネーバーズは、地域に根ざした協同組合を組織し、住民の経済的自立をかなえる足場作りを推進しています。また多様な教育・専門技術支援で住民の能力を強化し、社会的企業※の運営により、持続可能な発展を目指しています。

※社会的企業（ソーシャルエンタープライズ）：営利の追求だけではなく社会的な問題解決を目指す企業のこと

肥料や種子を支給され喜ぶ農民たち（マラウイ）

ベトナム

養豚技術の教育で収入向上をサポート

ベトナムは豚肉の消費量が多い国であり、北部の町マイチャウでも多くの住民が畜産業に従事しています。しかし、近年はアフリカ豚熱と新型コロナウイルスの影響で畜産業が深刻な打撃を受け、住民は収入減少に直面しています。このような状況を受け、グッドネーバーズは、生産・加工・流通すべてのプロセスを地域住民自ら運営できるように黒豚養豚組合の体制強化を支援しました。その結果、環境にやさしい農法教育→良質な商品生産→収入向上という好循環が生み出され、地域住民のより良い生活をサポートすることができました。

黒豚養豚組合の年間売上高

サポート前 $28,000

サポート後 $129,888

研修を受けた黒豚養豚組合の従業員

グッドネーバーズ・ジャパンの成長ノート⑤

アントラちゃん

9歳　バングラデシュ

2019

2021

「私は算数が得意なので、みんなが"数学者"と呼んでくれるとうれしくなります」

アントラちゃんは、シャキプル地域に住んでいる小学校2年生の女の子です。土や木でできた家で父親、母親、兄弟2人と一緒に暮らしています。将来の夢は医者になることです。

父親が大工をして生計を立てていますが、生活は楽ではありません。

グッドネーバーズはこれまで、バングラデシュにて600万人近くの人々を支援してきました。教育や保健環境を整備し、子どもの権利を保護することで約21,000人の子どもたちを支援しています。

※バングラデシュの教育制度　初等教育5年制、中等教育7年制

アドボカシー

子どもたちが自身の権利について知り、守ることができるように、様々なアドボカシー活動※を行います。自治体や政府に政策改善を提案し、人々の権利が守られる社会をつくる取り組みを先導しています。

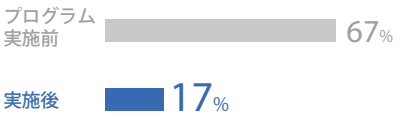
※アドボカシー活動：社会課題を解決するための政策提言や、キャンペーン等を通して知識を深め、行動に結びつけるための活動

子どもの権利キャンペーンに参加する女の子たち（バングラデシュ）

バングラデシュ

研修や家庭訪問を通して、子どもの権利を推進

プログラム実施コミュニティでの女児の婚約率



私も夫も、娘が学校に通わずに結婚することを望んでいました。しかし、子どもの権利について学び、考えが変わりました。今は、娘が質の高い教育を受けることを望んでいます！

ミノティ　高校生の娘を持つ母親

バングラデシュでは、20～24歳の女性のうち、半数が18歳未満の時に結婚していると言われています（ユニセフ『世界子供白書2021』）。本人の意思に反し強制的に行われる児童婚は、子どもの権利の侵害であり、子どもの発達に悪影響を及ぼします。

グッドネーバーズはバングラデシュにおいて、家庭や学校、地域社会が子どもの権利について学ぶ「子どもの権利推進プロジェクト」に取り組んでいます。参加者は、研修・家庭訪問を通して、子どもの持つ権利や、児童婚が女の子たちから教育の機会を奪っている現状について学びました。また、学用品や教育費の支援を通して女の子が教育を受けられるよう支援しました。こうした取り組みは、地域住民が意識を変えるきっかけとなりました。

提供された学用品を手に学校に集まる女子生徒たち

グッドネーバーズ・ジャパンの成長ノート⑥

アビシュカールくん

5歳　ネパール

2020　→　2022

「親愛なるサポーターさん、もしあなたと直接会うことができたら、一緒にご飯を食べたいです」

アビシュカールくんはネパール北部のバジュラで、両親、姉妹1人と一緒に暮らしています。今、幼稚（保育）園に通っています。一番好きな教科は算数で、好きな動物はウサギ、好きな色はオレンジ色です。将来の夢は、医者になることです。

グッドネーバーズはネパールにおいて、10以上の地域で教育支援や水・衛生環境支援など様々な事業を展開し、子どもたちにとってより良い環境を作るために活動しています。

※ネパールの教育制度　基礎教育（小学校）8年制、中等教育（中等教育課程校）4年制

国内事業

グッドごはん

※イメージ

2022年の成果

2022年の
延べ支援世帯数
15,502世帯

支援した子どもの
延べ人数
26,891人

より多くのひとり親家庭に食品を届けたい

2022年は新型コロナウイルスによる影響が続く中で、食品の物価高騰も生じ、ひとり親家庭がさらに大きな影響を受けました。グッドネーバーズ・ジャパンは国内ひとり親家庭のフードバンク「グッドごはん」を通じ、延べ15,502世帯のひとり親家庭に食品を配付することができました。

配付拠点の増設

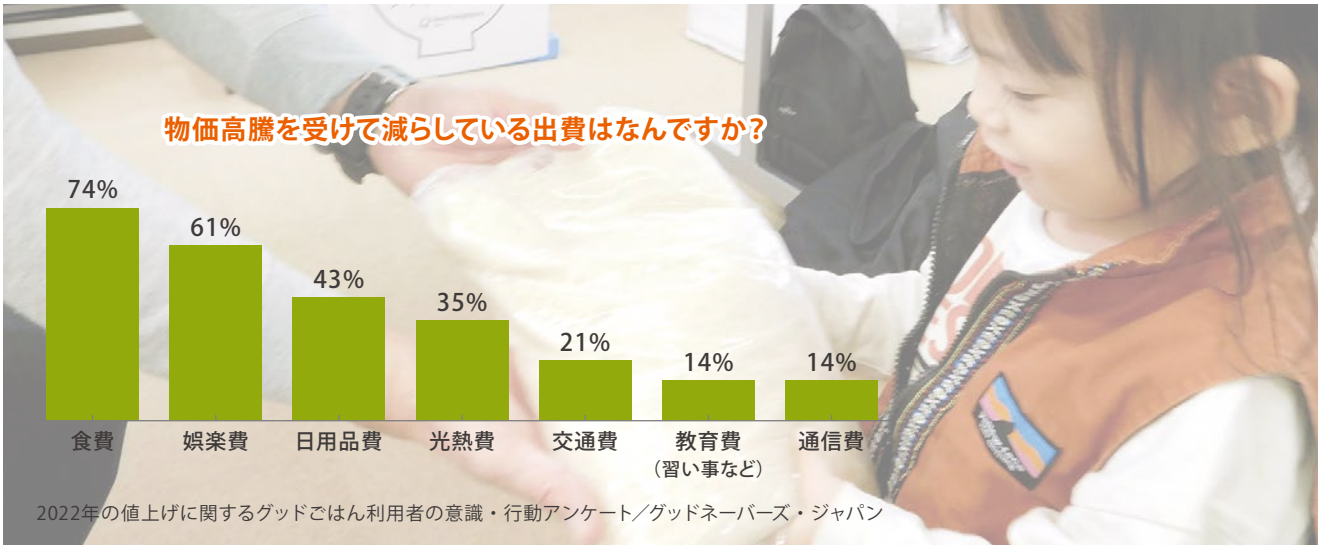
より多くのひとり親家庭に食品を届けるため、配付拠点の増設に努めました。2022年1月時点では東京大阪合わせて17カ所でしたが、12月には28カ所まで増設しました。これにより、ひと月の配付世帯数を、約1,000世帯（2022年前半）から約1,800世帯（2022年12月実績）にまで増やすことができました。

新倉庫の開設

2022年11月、皆様からの温かいご寄付により、板橋区に新たな事業拠点となる食品倉庫を開設しました。板橋倉庫は利用者からの要望の多かった東京北西部に位置し、配付場所としても機能することで、多くの利用者のアクセス改善につながりました。またこの倉庫は、現在所有している倉庫の中で最も広く、4トントラックからの搬入も容易な造りです。そのため、今まで断らざるをえなかった大口の食品寄付を受け取れるようにもなりました。こうした拡充により、今までアクセス等の問題で支援を受けられなかった家庭にも食品を届けられるようになりました。

配付食品の質の向上

グッドごはんでは、ご寄付いただいた食材を、主食や副菜、飲料など種類ごとに分け、ひと世帯毎の配付食品にバランスよく含まれるよう調整しています。2022年は、利用者の皆さんから寄せられていた子どもの食事の栄養面を心配する声を受け、野菜や果物などの生鮮食品を多く配付いたしました。食品等の物価高騰が続き、グッドごはんを利用するひとり親家庭の暮らしが厳しさを増す中、生鮮食品を受け取った利用者からは喜びの声が多く上がりました。
少しでも多くのひとり親家庭が安心して暮らせるよう、今後も支援を継続してまいります。



物価高騰で厳しさを増すひとり親家庭の生活とグッドごはんの支援 ーアンケート調査より

グッドネーバーズ・ジャパンは、ひとり親家庭の状況を把握するため、グッドごはん利用者を対象にアンケート調査を実施しています。2022年には、物価高騰に関する調査や、グッドごはんの効果に関する調査を実施しました。

6月に実施した物価高騰に対しての意識および行動に関するアンケート調査では、94.3％の利用者が「値上げを実感する」「やや実感する」と回答し、そのうち74％が「食費を減らしている」と回答しました。食費を減らすために、「（子どもには）給食で2，3人前食べてきてもらい、夕食は小皿一品だけもしくはゼロで済ませる。」との声もあり、ひとり親家庭のひっ迫した状況が明らかになりました。

2022年は新型コロナウイルスによる経済停滞が続く中での物価高騰で、社会全体が打撃を受けましたが、ひとり親家庭は特にその影響を受けたことが分かります。

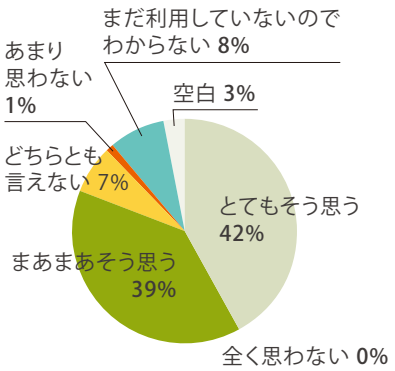
そのような中、グッドごはんの食品配付は、困窮する親子の心身の支えとなっています。グッドごはんの効果に関するアンケート調査では、「食品の受け取りによって、家庭の食生活・食事内容が改善したと思いますか？」という質問に対し、42％が「とてもそう思う」、39％が「まあまあそう思う」と回答しました。利用者からは「ひとりじゃない、明日からまた頑張ろうと思えた。」との嬉しい声も寄せられています。

グッドごはんで食品を受け取ることで、日々の家計に少しの余裕が生まれます。さらに3食しっかり食べられれば、子どもたちは勉強や将来への意欲が沸いてきます。皆さまの支援が、ひとり親家庭の生活を様々な面で支えています。

初めてグッドごはんの食品を受け取りました。帰り道こんなに優しい方がいるのかと涙がでました・・・（冗談でなく、本当に、ありがたいなと心から思いました）。知り合いに自分はシングルマザーだと言ったことは無いのですが、こうして手を差し伸べてくれる方がいるのだなと思うと、頑張ろうと思えます。こういった取り組みをしてくださっている方に感謝しかありません。

グッドごはん利用者より

グッドごはんで食品を受け取ることによって、家庭の食生活・食事内容が改善したと思いますか？



メディア掲載実績

コロナ禍や物価高騰による経済的影響が注目される中、グッドごはんは2022年に様々なメディアに取り上げられました。

2022年に掲載いただいたメディア（一部・順不同）

NHK（首都圏ニュース）、TBS（ニュース23）、読売新聞、東京新聞、東京新聞TODAY、香港フェニックステレビ、たまひよONLINE、日本農業新聞、大阪日日新聞、国際ホテル旅館、ReRe（リリー）、宅食マルシェ、@DIME、MONEY PLUS

人道支援

2022年の人道支援

自然災害や紛争は多くの人々の日常を奪い、命を脅かします。とりわけ、女性や子どもを始めとする社会的弱者は更なる困難に陥るリスクがあります。グッドネーバーズは、助けが必要な場所には人種・宗教・思想・地域を超えてどこでも駆けつけ、困難に直面した人々に最も必要なものやサービスを提供し、子どもたちと地域住民の生活と心を支えています。
2022年は、ウクライナ危機を始め、世界各地で発生した自然災害や紛争等の人道危機下で、計982,126人の人々を支援しました。

2022年12月、ウクライナ ミコライウ州

グッドネーバーズ・ジャパンの海外緊急支援

ウクライナ ヘルソン州にて越冬支援の物資を受け取った方々

【ウクライナ危機】

避難民への食糧、医療、越冬支援

2022年2月にはじまったロシアによる軍事侵攻は多くの人の日常を奪い、2023年8月現在までの期間に約1,100万人の人々が国内外への避難を余儀なくされました。
グッドネーバーズ・ジャパンは紛争発生直後から人道支援を開始し、複数の現地団体と協働しながら、ウクライナ国内及び隣国ルーマニアにて活動を実施してきました。安定して食糧が手に入らない地域や多くの避難民が滞在している地域には食糧を、医療体制が機能していない地域には医療品や医療器具を届けました。厳しい冬を迎える前には、防寒着や靴下、手袋、帽子などを詰めた越冬支援キットを前線近くに残る人々に提供してきました。

この病院に、包帯や点滴器具、医療用グローブや抗生物質などのしっかりとした支援物資が届いたのは初めてのことでした。

医療物資を受け取った医療従事者

私が避難している地下室は底冷えする上に、寝ている間は火を使えません。着て温まることのできる今回の物資はとても助かりました。

越冬支援キットを受け取った避難者

※当事業はジャパン・プラットフォーム助成事業です。

建設されたCFSで授業を受ける子ども

【インドネシア 地震】 チャイルドフレンドリースペースを建設

2022年11月21日、インドネシアの西ジャワ州でマグニチュード5.6の地震が発生しました。この地震被害への対応として、グッドネーバーズ・ジャパンはグッドネーバーズ・インドネシアと協働で、発災直後より緊急支援物資の配付などを実施しました。
また、2023年1月～2月にかけ、伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社様のご寄付により、被災した学校にチャイルドフレンドリースペース（Child Friendly Space、以下CFS）を建設しました。CFSは、被災した子どもたちの授業やレクリエーションを実施する場所として使用されます。
CFSの建設のほか、手洗い場の設置、教育用具・本等の提供、子どもたちへの学用品の配付も行いました。

安全な学校を再建する資金が確保できなかったため、被災後はブルーシートを使った応急的な空間で子どもたちの授業を続けていました。そんな中、このような素晴らしい支援を受けることができ、本当に感謝しています。

当事業の支援を受けた学校の教師より

【エチオピア 内戦】 紛争避難民への食糧と医療の支援

エチオピアでは、2020年から激化した紛争により多くの避難民が発生し、病院などの公共施設も破壊や略奪により甚大な被害を受けました。これを受け、グッドネーバーズ・ジャパンは、厳しい生活を強いられる避難民を救うため支援事業を継続的に実施してきました。
2022年は当事業を通じ、飢餓のリスクに陥っていた9,276人の避難民へ食糧を配布したほか、1,250人の妊産婦や子どもたちへの栄養補助食品の提供、計12カ所の医療施設に対する薬・医療物資の支援を実施し、避難民の命を守ることに貢献してまいりました。
困窮する避難民たちの暮らしを改善するため、グッドネーバーズ・ジャパンは引き続きエチオピアでの支援活動に尽力しています。

グッドネーバーズ・ジャパンの食糧支援を受け、自分たちが生きていくために最低限の食糧を得ることができて感謝しています。今後もぜひ支援を続けてもらいたいです。

避難所で暮らす紛争被害者

※当事業はジャパン・プラットフォーム助成事業です。

配布された栄養補助食品を使って離乳食を作っている様子

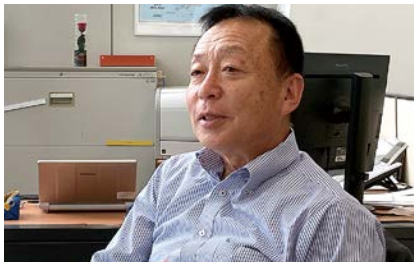
企業との連携

グッドネーバーズ・ジャパンが目指す『子どもの笑顔にあふれ、誰もが人間らしく生きられる社会』というビジョンの実現には、賛同し、力を貸してくださるパートナーの存在が不可欠です。とりわけ企業の力は、様々な場面で必要とされています。2022年も、多くの企業の皆さまから力強いご支援をいただきました。その一部をご紹介します。

協力企業 ご担当者様インタビュー

伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社
取締役兼常務執行役員　高丸明 様

80以上の国々で鉄鋼流通のフロントランナーとして活躍されている同社は、2022年11月に発生したインドネシア地震の緊急支援にご寄付をくださいました。同社のご寄付により、被災地にチャイルド・フレンドリースペースを建設することができました。
「今回の支援先であるインドネシアは、当社の拠点や多くの取引先がある上に、被害の状況からも迅速さが求められる非常に重要な事案でした。そうした中、グッドネーバーズが地震発生後すぐに被害状況等の実態把握や支援に着手していたことを知り、支援することに決めました。物理的な支援だけではなく、なかなか支援の手が届きづらい子どもたちの心のケアを行っている、という点も素晴らしいと感じました。子どもたちは、どの国においても、その国の将来を背負っている存在です。GNJPからの活動報告で、災害で失われていた子どもたちの笑顔が戻った写真を見て、支援の意義を実感できました」



インタビュー全文はこちら
https://www.gnjp.org/reports/detail/20230816_kob/

敷島製パン株式会社（Pasco）
企画管理グループマネージャー　森田英義 様

「超熟」シリーズでお馴染みの同社は、毎月、ひとり親家庭のフードバンク「グッドごはん」を通して、Pascoのパンをひとり親家庭に届けてくださっています。
「『社会の変化に常に関心を払い、社会の発展、環境保全に貢献する事業活動を推進する』という弊社の企業理念に合致し、スタッフの皆さんの想いにも共感して、グッドごはんとの連携を始めました。食品を受け取ったお子さんから『あ、超熟だーうれしい!』という声が聞けたときは、こうやって我々は生かされているのだと感じました。また、やむを得ず廃棄しなければならなかった商品が必要なご家庭に渡るようになったことは、社員にとっても価値のあることでした」

インタビュー全文はこちら
https://www.gnjp.org/reports/detail/20230725_ykit/

ご支援・ご協力をいただいた企業・団体（一部　順不同敬称略）

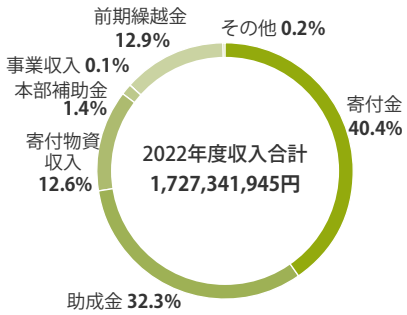
三洋化成工業株式会社
株式会社ファイントゥデイ
株式会社 MEJ
セカンドハーベスト・ジャパン
生活協同組合おおさかパルコープ
株式会社 LATEGRA
株式会社 LK キャピタル
医療法人なごみ　なごみ診療所
株式会社オンデーズ
Backside works.
アトミジャパン合同会社
ヤフー株式会社 Yahoo! ネット募金
認定 NPO 法人ふーどばんく OSAKA
寄付ナビ合同会社
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社
バイエルホールディング株式会社
大田区社会福祉協議会
カルビー株式会社
J.P. モルガン
合同会社　きさらぎインベストメント
株式会社あおぞら銀行
セイウ株式会社
株式会社クラダシ
株式会社 百笑 縁ファーム
敷島製パン株式会社
HAVI サプライチェーン・ソリューションズ・ジャパン合同会社
株式会社資生堂
平和交通株式会社
TM コミュニケーションサービス株式会社
有限会社 ウチノ
株式会社 DX JAPAN
日本アルコン株式会社
フロマージェアソシエジャポン株式会社
有限会社　間宮プレス
テンワス株式会社
シオノギ社会貢献支援会
WeSupport Family 事務局
レンドリース・ジャパン株式会社
一般社団法人全国フードバンク推進協議会
エー・ディー・エム・ジャパン株式会社
株式会社サン・マル・サン

※2022年に100万円相当以上のご支援をいただいた法人を掲載しています

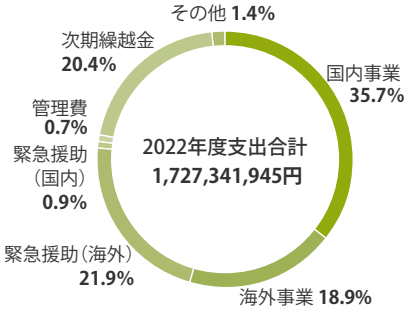
会計報告

2022年度収支計算書(2022年1月1日～12月31日)

A 経常収益		（単位：円）
受取寄附金		914,225,270
受取寄附金	697,107,523	
寄付物資収入	217,117,747	
受取助成金等		583,557,107
グッドネーバーズ本部補助金収入	24,956,065	
助成金収入	558,601,042	
事業収益		2,440,830
その他の収益		1,250
経常収益計		**1,500,224,457**



B 経常費用		
1 事業費		
困難な生活環境にある子ども達およびその家族のための支援事業	海外 国内	327,197,263 617,101,623
大規模自然災害または紛争等の発生時における緊急人道支援および復興支援事業	海外 国内	378,813,702 15,745,718
物品の販売事業		684,394
事業費計		**1,339,542,700**
2 管理費		12,032,514
経常費用計		**1,351,575,214**
当期経常増減額（A-B）・・・①		148,649,243



C 経常外収益(雑収入)		4,188,260

D 経常外費用		24,205,177

当期経常外増減額（C-D）・・・②	-20,016,917
経理区分振替額　・・・③	0
税引前当期正味財産増減額　①+②+③・・・④	128,632,326
法人税、住民税及び事業税　・・・⑤	74,476
前期繰越金　・・・⑥	222,929,228
次期繰越金　④−⑤+⑥	351,487,078
収入合計 (A+C) ＋ **前期繰越金**	**1,727,341,945**
支出合計 (B+D)+⑤ ＋ **次期繰越金**	**1,727,341,945**

貸借対照表(2022年12月31日現在)

（単位：円）

A 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	253,922,574	
未収入金	87,377,627	
商品	2,005,873	
貯蔵品	438,358	
寄付物資	71,727,121	
立替金	37,200	
支援等事業特定資産	414,633,818	
流動資産合計・・・①		**830,142,571**
2 固定資産		
退職引当特定資産	19,000,000	
敷金	6,360,000	
固定資産合計・・・②		**25,360,000**
A 資産合計 ①+②		**855,502,571**

B1 負債の部		
1 流動負債		
未払金	80,328,860	
預り金	3,856,765	
前受金	400,755,568	
未払法人税等	74,300	
流動負債合計・・・③		**485,015,493**
2 固定負債		
退職給付引当金	19,000,000	
固定負債合計・・・④		**19,000,000**
負債合計 ③+④		**504,015,493**
B2 正味財産の部		
前期繰越正味財産額	222,929,228	
当期正味財産増減額	128,557,850	
正味財産合計		**351,487,078**
B 負債及び正味財産合計 B1+B2		**855,502,571**

監査報告書

これは、JANICの「アカウンタビリティセルフチェック2021」マークです。JANICのアカウンタビリティ基準の4分野（組織運営・財務・人材育成・情報の保護と共有）について当団体が適切に自己審査したことを示しています。

役員

会長：福井 玲（東京大学名誉教授）
代表理事：小泉 智（グッドネーバーズ・ジャパン事務局長）
副代表理事：韓 福相（大阪産業大学教授）
物流戦略担当理事：松本 吉広（黒光商事株式会社代表取締役）
経営戦略担当理事：中間 恒輔（CBGM株式会社　執行役員）
メディア戦略担当理事：野呂 薫（NEDO 広報部専門調査員）
営業戦略担当理事：川崎 安史（エンタープライズアドバイザー）
理事：崔 玟鎬（グッドネーバーズGPC事務局長）
監 事：姜 恩和（目白大学准教授）
法務顧問：金子 憲康（弁護士）
財務顧問：さくら会計事務所
労務顧問：浅井 浩次（特定社会保険労務士）

VISION | 子どもの笑顔にあふれ、誰もが人間らしく生きられる社会

MISSION | 国内外のパートナーと共に、貧困および差別の原因や災害・紛争による脅威を取り除く

認定NPO法人　グッドネーバーズ・ジャパン

〒144-0051 東京都大田区西蒲田7-60-1 ソメノビル7階

TEL：03-6423-1768　E-mail：admin@gnjp.org

HP : www.gnjp.org

X (Twitter) : @GNJapan　Facebook : gnjapan　Instagram : (団体公式) gn_japan　(グッドごはん公式) gn_goodgohan